

三三二〇番

こもりくの 泊瀬の国に さよばひに 我が来れ
 ば たな曇り 雪は降り来 さ曇り 雨は降り来
 野つ鳥 雉はとよむ 家つ鳥 かけも鳴く さ
 夜は明け この夜は明けぬ 入りてかつ寝む こ
 の戸開かせ

反歌

三三二一番

こもりくの 泊瀬小国に 妻しあれば 石は踏め
 ども なほし来にけり